

2024年度 事業報告書

前年度(2023年5月)に国は、新型コロナを感染症法上の2類から5類に変更し国の施策をコロナ感染防止対策から一気に経済活動再開へと大きく方向転換した。

本年度栄光会は、必要な感染症防止対策を講じながらコロナ禍以前の事業運営回帰を目標に2024年度事業計画の達成に向けて種々の取り組みを行ったが、やはり本年度も2020年から続いたコロナ禍の影響は利用者のADL低下や事業実績、人材確保など多岐に及び、加えて不安定な世界情勢と円安などによる物価の高騰や最低賃金の大幅な改定、人手不足による人件費の上昇など多くの問題に対峙することとなった。

事業運営については、本年度上半期に四つの感染症クラスター(4月初旬・きよみず苑のデイとサ高住・19名がコロナ感染、4月初旬・東旺苑・33名が感染性胃腸炎、7月中旬・東旺苑・13名がコロナ感染、8月初旬・きよみず苑二階特養・6名がコロナ感染)に見舞われたが、下半期にはクラスターの発生は無く前年度の小規模レクや施設内研修に加えて中規模レクや外出レクの実施、施設外研修への参加、施設内での家族面会の実施など取組を進めることができた。2月には「きよみず苑開設10年」を記念して、サ高住において無料特別喫茶を開催、また同月に永年勤続表彰式を実施し12名の職員の労をねぎらった。前年度から取り組みを開始した「介護支援専門員資格取得の支援強化」に関して、本年度は8名の職員がケアマネ受験に挑み2名が合格し後進の育成と職員のスキルアップに繋がった。尚、本年度も感染症対策として11月に第8回目のコロナワクチン接種(特養入居者)を、また11月～12月にかけてインフルエンザワクチン接種(特養入居者と職員)を希望者に行った。また本年度、法人の基本方針に沿った働きやすい職場作りと労働環境の整備などの更なる推進を目的に、きよみず苑において「衛生委員会」を立ち上げ9月から毎月開催、2月に施設医を産業医資格取得研修へ派遣した。次年度には東旺苑も加え、法人全体を包括した衛生委員会とする。

事業実績については、4年の長きに亘るコロナ禍の影響等で入居者や利用者の重度化・高齢化が更に進行。特養部ではきよみず苑入居者の入院や退居が急増して充足率が低下。在宅部でもサ高住入居者のADL低下と高齢化等の影響で、ヘルパーステーションでは活動実績を大きく伸ばしたが反対にデイサービスでは欠席利用者の増加によって稼働率が大きく低下した。配食サービスにおいては新規利用者の積極的な受入れと他事業所の撤退などもあり、一日平均・約4食の実績増加となり地域貢献拡大にも寄与することができた。

人材確保と支出などについては、コロナ禍後に介護業界からサービス業などに人材が逆流しコロナ禍前よりも一層人材確保が困難となった。本年度、退職者の人員補充は直接雇用職員の確保が進まず現場の維持と職員保護のためやむなく派遣職員を多数導入。急激な人件費増加を防ぐためウェブ活用の短時間単発介護職員等紹介業者Ucareと契約し所謂スキマバイトの効率的活用で人件費の圧縮と職員の残業負担の軽減に努めたが最終的に本年度の人件費は前年比で1600万円の増加(うち派遣職員費の増加分は1200万円)となった。今後の人材確保対策の一つとして本年度に外国人人材の採用を検討。2月に定住資格と現場経験を有する外国人人材を採用し、更に次年度に向けて技能実習を終了した特定技能外国人2名の採用を内定した。

支出の大きな増加は、人材の枯渇や最低賃金の大幅改定による人件費のみに止まらず不安定な世界情勢と円安による物価高騰にも起因しており、光熱水費は前年比で約400万円増加、石油由来の製品価格も上昇し続けた。7月からは委託給食会社の運営管理費が月額28万円増加。更には前年度支給された物価高騰対策支援金・約960万円は本年度は260万円の支給にとどまり、同じく前年度支給された食材費高騰対策支援金・約430万円は本年度において支給は無かった。これらの経費増加や物価の高騰および支援金の減額等を受けて10月より特養・短期入所・デイサービス・サ高住の各事業所において食事代などの価格改定を実施せざるを得ない状況となった(配食サービスは市からの委託事業のため価格改定は不可)。

また本年度には介護報酬の改定が行われ、介護職員等処遇改善加算の新設(旧処遇改善三加算の一本化)で処遇改善加算が増額し職員の待遇向上とモチベーションアップに繋がったが、同加算は職員への全額支給が義務付けられているため収入額は増加したが同時に支出額も増加となった。今年度の報酬改定では同一建物減算が強化され、サ高住の利用者に対するケアプランセンターの報酬が4月から5%の減額。またヘルパーステーションに至ってはサービス種別の中で唯一、基本報酬が減額となった上に更に11月から同一建物減算の強化によって介護報酬が10%から12%へ減額率が引き上げられた。

2024年度もこれらの問題や課題に対して各部・各部署が連携し組織力を最大限発揮して取り組んだ結果、多くの目標を達成し、単年度収支において前年より半減するも約2650万円の黒字が確保できた。

1. 特養サービス部

2024年度は、コロナ禍以前に少しずつ回帰する事を意識した年度となった。

制限が解除された面会の実施が当たり前となり、特に特養サービス部においては、長らく対応から疎遠となっていた、現場職員による家族様対応も再開される事となり、改めて特養サービスはサービス部門であるという事を再認識する事ができた。

感染症対応としては、4月当初及び7月当初に東旺苑特養入居者様より発生したが、どちらも早期発見・早期対応を行う事で、感染拡大を防ぎ最短での隔離解除を行う事ができた。

事業計画に挙げた、5年先・10年先の安定した事業運営を見据えた取り組みとして法人の資格取得支援を受け、今年度、特養部としては6名の職員が介護支援専門員試験を受験。結果2名の職員が合格し、次代・後進の育成をより推進する事ができた。

また「気づく力」を育成し、ケアの質の向上だけでなく事故予防に取り組む事に注力し、それぞれの事業所の委員会活動の活性化を促す事ができた。

Instagramでの行事等発信についても、年度を通して継続的に発信する事ができ、より透明性の高い事業活動を意識する事ができた。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2024年度は、引き続き取得加算の継続算定に努め、入居申込の受付、申込者への事前面談を随時実施し定期的な入所判定会議を行い、常に入所候補者を確保する事で、入居・退居時に発生する空床の減少に努めた。また、年間を通して入居者の異常の早期発見、早期対応を意識し取り組む事で、結果的に前年度と比較し、入院者数・入院日数共に減少させる事ができた。

長らくコロナ禍により実施ができなかった外出レクや買い物レクなどを行う事ができ、感染対策を意識した上で積極的なレクリエーションの実施をした。

施設内研修の定期開催について、人員が不足している事もあり、定期開催を実施しても参加職員を募る事が難しい状況もあり、開催・実施の仕方については課題が残る。

積極的な情報発信についてはSNSや毎月発行している東旺苑日和の活用を継続した。

1 入居の状況（2024年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数（人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	10	42	52	1,500	1,434	95.6
5月	9	42	51	1,550	1,461	94.3
6月	8	42	50	1,500	1,454	96.9
7月	8	42	50	1,550	1,550	100.0
8月	8	42	50	1,550	1,526	98.5
9月	8	43	51	1,500	1,470	98.0
10月	8	43	51	1,550	1,500	96.8
11月	8	43	51	1,500	1,473	98.2
12月	8	42	50	1,550	1,542	99.5
1月	8	42	50	1,550	1,515	97.7
2月	8	42	50	1,400	1,380	98.6
3月	8	42	50	1,550	1,514	97.7
合計	99	507	606	18,250	17,819	97.6
平均	8.25	42.25	50.5			

参考 2023年度 年間合計充足率 **96.7%**

2 入院の状況（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	5	5	2	0	1	2	3	2	1	1	2	2	26
延人日（人日）	56	43	20	0	24	20	40	22	2	15	20	36	298

参考 2023年度 入院者数延べ **35** 人、延べ日数は **516** 人日

3 入・退居の状況 (2024 年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
6	4	1	0	11	2	0	7	2	11

参考 2023 年度の入居は 10 件、退居は 10 件、うち入院中退居は 6 件

4 入居者の介護度 (2024 年度)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	割合
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 3	7	8	9	9	9	9	10	11	11	12	11	11	19.3%
介護度 4	21	20	19	19	19	20	16	17	16	16	16	15	35.3%
介護度 5	24	23	22	22	22	22	25	23	23	22	23	24	45.4%
平均	4.33	4.29	4.26	4.26	4.26	4.25	4.29	4.24	4.24	4.20	4.24	4.26	4.26

参考 2023 年度の介護度は 1 から 0%・0%・22.3%・36.2%・41.5% 平均介護度は、4.19

5 入居者の年齢構成 (2024 年度末現在)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	0	5	6	11	20	7	1	50
割合	0%	0%	10%	12%	22%	40%	14%	2%	100%

2024 年度末の平均年齢は、89.6 歳

参考 2023 年度末の平均年齢は、89.1 歳

6 入居者の入居期間 (2024 年度末現在)

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	11	7	4	8	8	3	2	
割合	22%	14%	8%	16%	16%	6%	4%	
	7 年～	8 年～	9 年～	10 年～	15 年～	20 年～	25 年～	計
人数	2	3	1	1	0	0	0	
割合	4%	6%	2%	2%	0%	0%	0%	100%

7 保険者の状況 (2024 年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	南区	宇治市	右京区	計
人数	39	4	4	1	1	1	50
割合	78%	8%	8%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2024 年度において、年度当初に継続利用者の入院や利用中止などを受け躓いたが、特養入院者の空床や緊急的なニーズに積極的に対応。結果、新規利用者 20 名の受け入れを実施、うち 6 名は継続利用に繋げる事ができた。

急な入院などにより稼働が安定しない月もあったが、年間を通して特養入居者の入院による空床利用は積極的に活用し、目標稼働率は達成する事ができた。

1 利用の状況（2024 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	5	4	9	120	92	76.7
5 月	6	6	12	124	141	113.7
6 月	6	5	11	120	148	123.3
7 月	5	7	12	124	129	104.0
8 月	3	7	10	124	107	86.3
9 月	4	7	11	120	126	105.0
10 月	5	8	13	124	149	120.2
11 月	5	7	12	120	134	111.7
12 月	4	7	11	124	111	89.5
1 月	5	11	16	124	158	127.4
2 月	5	8	13	112	102	91.1
3 月	4	8	12	124	119	96.0
合計	57	85	65	1,460	1,516	
平均	4.8	7.1	10.8		126.3	103.8

参考 2023 年度の新規利用者は 24 名、平均利用者数は 10.5 名、稼働率は 107.1%

2 介護度別の延利用者数（2024 年度） (人)

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	2	64	24	2	92	3.33
5 月	6	11	100	11	13	141	2.92
6 月	20	12	97	7	12	148	3.00
7 月	28	12	66	5	18	129	2.83
8 月	11	16	61	0	19	107	2.60
9 月	2	35	62	0	27	126	3.09
10 月	18	37	60	10	24	149	2.85
11 月	35	32	45	12	10	134	2.67
12 月	28	42	17	11	13	111	2.45
1 月	13	30	19	74	22	158	2.81
2 月	10	32	16	25	19	102	2.85
3 月	12	34	42	10	21	119	2.83
合計	183	295	649	189	200	1,516	
平均	15.3	24.6	54.1	15.8	16.7	126.3	2.85

参考 2023 年度の平均介護度 3.33 合計延利用者数 1,568 人

3 利用者の年齢構成（2024 年度末利用者実績）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	1	0	0	2	1	1	5	2	12
割合	8%	0%	0%	16%	8%	8%	44%	16%	100%

○研修受講状況（2024年度）

* 東旺苑（特養・短期入所）

施設内研修

4月	役付職員研修（法人） 新入職員研修	法人 施設内
5月	熱中症・脱水症研修	施設内
6月	日中夜間緊急時対応 身体的介護技術（きよみず苑）	施設内
8月	緊急時対応研修 認知症ケアと接遇 身体的拘束適正化研修（配布形式）	施設内
9月	高齢者虐待防止・権利擁護研修	施設内
10月	尿路感染症研修 普通救命講習（AED他） 高齢者虐待防止・権利擁護研修（きよみず苑）	施設内
11月	事故予防リスクマネジメント研修	施設内
12月	事故予防リスクマネジメント研修 認知症ケアと接遇マナー 法令遵守研修（きよみず苑） 夜間緊急時対応研修	施設内
1月	ノロウイルス・インフルエンザ勉強会 高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修	施設内
3月	ノロウイルス・インフルエンザ勉強会 ハラスメント研修（きよみず苑） 身体拘束適正化研修・消防避難訓練	施設内

施設外研修

4月	市老協地域貢献会議 京都市緊急措置サポート会議
5月	介護等体験受け入れ 京都市認定調査員研修（ZOOM）
6月	市老協地域貢献会議
7月	市老協食事部会研修（ZOOM） 京都市緊急措置サポート会議
8月	市老協地域貢献会議 介護等体験受け入れ
10月	市老協生活相談部会 京都市緊急措置サポート会議 市老協食事部会 市老協地域貢献会議 アンガーマネジメント研修
11月	市老協地域貢献会議
12月	市老協地域貢献会議
1月	京都市緊急措置サポート会議 スピーチロック研修
2月	市老協地域貢献会議
3月	京都市特定給食施設講習（ZOOM）

○行事実施状況（2024年度）

* 東旺苑（特養・短期入所）

4月	おやつレク
5月	音楽レク、映画レク、生け花レク、誕生日レク
6月	映画レク、生け花レク、誕生日レク
7月	映画レク、誕生日レク、緑旺祭
8月	花火大会、誕生日レク
9月	外出レク（MOMOテラス）、映画レク、カラオケレク、誕生日レク 敬老祝賀会
10月	映画レク、誕生日レク、生け花レク 不在者投票（第50回・衆議院議員総選挙）
11月	映画レク、誕生日レク、おやつレク、買い物レク、カラオケレク
12月	映画レク、誕生日レク、クリスマスレク、買い物レク、柚子湯 もちつきレク
1月	外出レク、誕生日レク、映画レク、カラオケレク
2月	買い物レク、誕生日レク、カラオケレク 永年勤続職員表彰式
3月	雛祭レク、誕生日レク、回転ずしレク、映画レク、買い物レク お花見外出レク

○介護課

各委員会の取組推進により、認知症ケアへの理解やヒヤリハットを通じた気づく力の前進などを含めた早期発見・早期対応は、年間を通して取り組む事ができた。
しかしながら職員による不注意や報連相が十分でない事も見られた為、今後も「気づき、発信する」事は課題として継続的に取り組み続ける必要がある。
集団生活の中において入居者様一人ひとりが個性を發揮し生活する事ができていると感じ、今後も一人ひとりの状況に合わせたケアの提供に努める。
また人員不足の中でも多職種と協力し職員一人ひとりが力を發揮し精一杯のケアの提供を実施。
今後も互いにコミュニケーションを意識しながら安全で丁寧なケアの提供を心掛ける。

○支援課（ケアマネジメント）

支援課として、健康管理課・栄養管理課・介護課と連携し、京都式ケアプラン点検ガイドラインに基づいた、入居者一人ひとり、その人らしい日々の実現に繋げる為のプラン作成に努めた。
また、入居者の状態変化が見られた際には速やかに区分変更申請を実施。更新申請やケアプラン作成の不備が生じないように、計画遂行管理表を活用した。

○栄養管理課

①栄養マネジメント

ケアマネジャーと連携し家族等の協力を得てカンファレンスの開催に努めた。また栄養リスク別にモニタリングを実施し、多職種連携を心掛け、高リスクの利用者については月2回の体重測定と褥瘡リスクの把握を実施し入居者の状態把握に努めた。

②給食について

毎月定期に給食委員会を開催し、残食の検証や食事提供に係る改善点を検討し共有するように努めた。また面前提供の機会を活用し、より良い食事環境の実現に取り組んだ。

③その他

毎月のお誕生日レクを継続する事が出来た。

○健康管理課

施設医と日常的に連携を取り、入居者様の日々の健康管理、異常の早期発見・早期対応に努めた。
入居者様や家族様が安心して生活を送る事ができるよう努め、今年度においても感染症の情報収集、周知に努め、継続して注意喚起を実施した。
職員の体調管理、自己管理の警鐘を行い、体調不良者への早期対応の徹底に努め、入居者様の褥瘡予防についても施設医と連携し予防・悪化防止に努めた。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑（ユニット型・地域密着型・サテライト特養）

2024年度において、長らくコロナ禍対応で小規模なレクリエーションを開催してきたが、すみれレクや敬老会など、少しずつユニット合同などの中規模行事の開催などが再開する事ができた。また地域密着型事業所としての運営推進会議については、年度計6回全て対面開催を開催する事ができた。

施設内研修については、各委員会や現場責任者が積極的に講師を務める事で、より現場目線を意識した研修会の開催をする事ができ、また講師を務めた職員の成長を促す事ができた。

稼働状況について、年間を通して長年入居されていた方々の重度化・高齢化が重なった事もあり、例年以上に入院者や退居者が発生。都度次期入居の調整を実施するも追い付かず、対応が後手後手になってしまい目標数値を達成する事ができなかった。

1 入居の状況（2024年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	6	23	29	870	835	96.0
5月	6	23	29	899	868	96.6
6月	8	23	31	870	827	95.1
7月	9	21	30	899	855	95.1
8月	9	20	29	899	841	93.5
9月	8	21	29	870	861	99.0
10月	8	21	29	899	892	99.2
11月	8	21	29	870	914	93.6
12月	7	22	29	899	825	91.8
1月	7	22	29	899	786	87.4
2月	8	21	29	812	737	90.8
3月	7	21	28	899	868	96.6
合計	91	259	350	10,585	10,009	
平均	7.6	21.6	29.2		834.1	94.5

参考 2023年度の平均充足率は96.9%

2 入院の状況（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	4	3	3	2	3	1	2	4	5	5	2	0	34
延人日（人日）	35	31	11	13	56	6	7	56	57	85	27	0	384

参考 2023年度の入院者数は、延べ22人で、延べ日数は284人日

3 入・退居の状況（2024年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
8	2	2	0	12	0	3	8	0	11

参考 2023年度の入退居は各6件

4 入居者の介護度（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合(%)
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度3	7	7	8	8	7	7	5	5	5	5	5	5	21.1%
介護度4	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14	15	16	48.3%
介護度5	9	9	9	8	8	8	10	10	10	10	9	7	30.6%
平均	4.07	4.07	4.03	4.00	4.03	4.03	4.17	4.17	4.17	4.17	4.14	4.07	4.09

参考 2023年度 平均介護度は4.01

5 入居者の年齢構成（2024 年度末現在）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	1	0	9	8	7	2	1	28
割合	0%	3.6%	0%	31.6%	28.8%	25.2%	7.2%	3.6%	100%

2024 年度末の平均年齢は、87.7 歳

参考 2023 年度末の平均年齢は、88.5 歳

6 入居者の入居期間（2024 年度末現在）

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	8	4	4	5	2	1	4	28
割合	28.8%	14.4%	14.4%	18%	7.2%	3.6%	14.4%	100%

7 保険者の状況（2024 年度末現在）

	山科区	東山区	左京区	中京区	計
人数	24	2	1	1	28
割合	86.4%	7.2%	3.6%	3.6%	100%

○研修受講状況（2024 年度）

施設内研修

4 月	役付職員研修	法人
5 月	熱中症と脱水勉強会	施設内
6 月	食中毒まん延防止研修 日中夜間緊急時対応研修	施設内
7 月	尿路感染症予防研修	施設内
8 月	身体的介助技術	施設内
9 月	認知症ケアと接遇マナー① 消防避難訓練（日中想定） 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会 身体的拘束適正化研修①	施設内
10 月	普通救命講習（AED 他） 高齢者虐待防止・権利擁護研修① 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会	施設内
11 月	認知症ケアと接遇マナー② ノロウイルス実践研修	施設内
12 月	法令遵守とプライバシー保護研修 感染症まん延防止・感染症 BCP 訓練	施設内
1 月	高齢者虐待防止・権利擁護研修② 身体的拘束適正化研修②	施設内
2 月	危機管理予測（事故予防）研修	施設内
3 月	自然災害 BCP 訓練（水害対策訓練） 消防避難訓練（夜間想定） ハラスメント対策研修 褥瘡対策とポジショニング研修	施設内

施設外研修

10 月	アンガーマネジメント研修
11 月	コーチングスキル研修
1 月	メンタルヘルス研修 スピーチロック研修

○行事実施状況（2024年度）

4月	誕生日レク、お花見散歩レク
5月	誕生日レク、ボーリングレク
6月	すみれレク
7月	誕生日レク、すいか割りレク
8月	誕生日レク、すいか割りレク
9月	誕生日レク
10月	誕生日レク
11月	誕生日レク、ボーリングレク、外出レク、合同運動レク
12月	誕生日レク、合同クリスマスレク、忘年会レク
1月	誕生日レク、館内初詣レク
2月	誕生日レク、節分レク
3月	誕生日レク

○介護課

2024年度は、入居者対応、職員連携・育成、レクリエーション活動、ご家族様との関係性作りを通して、ケア質の向上に取り組んだ。

- ・入居者対応
新規入居者が安心できるように積極的に関わりを持ち、情報共有によるケアの統一に努めた。一方で接遇等における課題も多く、法人の理念や基本指針の実現にはまだまだ改善が必要と感じる。
- ・職員連携、育成
日常のコミュニケーションは維持できているが、ユニット会議の開催や申し送りノートを活用した情報共有には猶も取り組む余地があり、また「任せること」の重要性が今後の職員育成の課題である。
- ・レクリエーション
毎月企画した誕生日会の開催や季節を感じる事のできる行事を、限られた人員体制の中でも工夫を凝らして実施できた。
- ・家族様との関係性作り
面会対応において、ご家族様との関係性は概ね良好であったが、一部、日常の様子など十分に共有ができていなかった事もあり、今後の情報提供の充実と、よりオープンな関係性作りに努めていく。

○支援課

今年度より支援課は新しい体制となったが、各部署や多職種との協力だけでなく、業務に取り組む中での学びを活かし、入居者様・ご家族様が安心して生活ができるように関わりやコミュニケーションに努めた。

相次ぐ入退居への対応は不慣れな中で奔走をしたが、時間を要し苦慮した。

○栄養管理課

- ①栄養ケアマネジメント
定期の体重測定・血液検査を基に各入居者の栄養状態・身体状態の把握に努め、ケアマネジャーと連携し、本人や家族様の意向を含めた栄養ケア計画の作成を行った。
- ②給食について
委託給食会社と協力し、安全かつ衛生的な食事提供を実施する事ができた。また、毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行った。
- ③その他
各ユニットにおいて、お誕生日レクやおやつレクを実施する事が出来た。

○健康管理課

施設医をはじめ多職種と連携し、入居者様の異常の早期発見、治療に繋がるように努めた。委員会を通して、感染症対応への医療知識の助言・指導を実施し、感染症予防に注力した。また褥瘡に関しても、委員会活動を通して予防・早期発見・早期対応の重要性の伝達に努めた。

2. 在宅サービス部

2024年度秋頃までは在宅サービス部の柱となるサ高住入居者のADL低下に伴い、ヘルパーステーションの訪問件数は増加。デイサービスは見守りレベルから要介護状態となり介護職員の業務負担が増大した。その後、冬期から年度末にかけてサ高住入居者の転居や施設入所が増え退居されると、それに伴い訪問件数や稼働率の低下を招いた。ショートステイは職員交代もあり不安要素はあったが、相談員の地道な居宅介護支援事業所訪問等により、年間平均稼働率97.9%を達成し目標数値を上回った。ケアプランセンターは常に先読みをして目標給付管理数以上の実績確保を維持し続けた。

➤ 短期入所施設 きよみず苑（ショートステイ）

2024年度において、引き続き介護福祉士資格保有職員の比率を上げ、より現場対応力を拡充し、緊急的なニーズだけでなく、単発利用のニーズにおいても積極的な受け入れを継続。また待つだけでなく、積極的な居宅事業所訪問を毎月実施。それにより新規利用の受け入れは34名。うち20名の方を継続利用に繋げる事ができた。

現場介護職員の積極的な送迎業務実施も継続し、利用者様だけでなく家族様に対しても顔の見えるサービスの提供を実施する事に努め、安心できるサービス提供に努めた。

感染症対策についても、有事の際は速やかな対応を実施し、事業所内での感染拡大を防ぎ、サービスの質の向上を目的として、気づき報告書・事故報告書・インシデントレポートの活用を継続した。

1 利用の状況（2024年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4月	11	19	30	300	335	111.7%
5月	12	18	30	310	333	107.4%
6月	11	14	25	300	285	95.0%
7月	9	15	24	310	291	93.9%
8月	10	17	27	310	309	99.7%
9月	12	26	28	300	295	98.3%
10月	10	18	28	310	287	92.6%
11月	11	16	27	300	289	96.3%
12月	12	17	29	310	308	99.4%
1月	10	21	31	310	273	88.1%
2月	8	19	27	280	286	102.1%
3月	8	21	29	310	283	91.3%
合計	124	211	335	3,650	3,574	
平均	10.33	17.58	27.9		297.8	97.9%

2024年度 新規利用者 34名
 参考 2023年度 新規利用者 41名 平均稼働率 108%

2 介護度別の延利用者数（2024年度） (人)

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	0	2	36	140	74	83	335	3.5
5月	0	0	3	40	128	79	83	333	3.4
6月	0	0	4	19	106	79	77	285	3.6
7月	0	0	0	47	118	54	72	291	3.5
8月	0	0	6	45	135	49	74	309	3.3
9月	0	0	7	49	115	51	73	295	3.2
10月	0	0	8	26	130	55	68	287	3.3
11月	0	0	5	31	119	48	86	289	3.3
12月	0	0	8	59	114	49	78	308	3.1
1月	0	0	10	31	117	56	59	273	3.2
2月	0	0	3	30	121	70	62	286	3.4
3月	0	0	11	42	155	22	53	283	3.2
合計	0	0	67	455	1,498	686	868	3,574	
平均	0	0	5.6	37.9	124.8	57.2	72.3	297.8	3.3

参考 2023年度 平均介護度 3.26 合計延利用者数 3,952人

3 利用者の年齢構成（2024 年度末利用者実績）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	0	0	2	5	6	6	9	1	29
割合	0%	0%	7%	17%	20%	20%	31%	5%	100%

4 行事レク実施状況（2024 年度）

4 月	
5 月	
6 月	すみれレク
7 月	
8 月	夏祭りレク
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	クリスマスレク
1 月	初詣レク
2 月	
3 月	

5 研修受講状況（2024 年度）

4 月	役付職員研修(法人)
5 月	熱中症と脱水勉強会
6 月	食中毒まん延防止研修 日中・夜間緊急時対応
7 月	尿路感染症予防研修 身体的介護技術勉強会
8 月	事故予防・危機管理予測研修
9 月	身体的拘束適正化研修 認知症ケアと接遇研修 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会 消防避難訓練
10 月	普通救命講習 高齢者虐待防止・権利擁護研修 口腔ケアと誤嚥性肺炎勉強会 アンガーマネジメント研修(施設外)
11 月	認知症ケアと接遇研修 ノロウイルスまん延防止研修
12 月	感染症まん延防止・感染症 BCP 訓練 法令遵守とプライバシー保護
1 月	高齢者虐待防止・権利擁護研修 身体的拘束適正化研修 メンタルヘルスケア研修(施設外) スピーチロック研修(施設外)
2 月	事故予防・危機管理予測研修 夜間緊急時対応研修
3 月	水害対策訓練・自然災害 BCP 訓練 ハラスメント研修 消防避難訓練 褥瘡対策とポジショニング研修

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2024年度は前年度からの利用者数の落ち込みを回復できると見込んで目標平均利用者数を設定。しかし当日の体調不良や予定外の長期入院などにより実平均利用者数が思うように伸びず、大きく目標数値と乖離した結果となった。また、利用者の要介護度が上昇し介護量が大きくなる中で職員の退職が続き、事業計画に掲げていた「デイサービスらしさ」を実現するべく様々なレクリエーションを計画していたが、日々の業務を安全に事故無く実施することで精一杯の状況となった。

1 利用の状況 (2024年度)

() 内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	26	53 (21)	449 (212)	17.3 (8.2)
5月	27	55 (21)	521 (242)	19.3 (9.0)
6月	25	55 (20)	478 (228)	19.1 (9.1)
7月	27	56 (20)	527 (241)	19.5 (8.9)
8月	27	54 (21)	521 (282)	19.3 (8.8)
9月	25	51 (20)	479 (227)	19.2 (9.1)
10月	27	53 (21)	529 (249)	19.6 (9.2)
11月	26	53 (22)	514 (247)	19.8 (9.5)
12月	24	51 (21)	441 (225)	18.4 (9.4)
1月	24	52 (21)	462 (219)	19.3 (9.1)
2月	24	52 (20)	450 (204)	18.8 (8.5)
3月	26	55 (22)	492 (227)	18.9 (8.7)
合計	308	640 (250)	5863 (2803)	19.0 (9.0)

参考 2023年度の延利用者数は **6323 (3082)**、1日平均利用者数は **20.4 (9.9)**

2 介護度別の延利用者数 (2024年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	73	87	72	78	80	87	97	78	77	94	103	109	86.3
介護2	152	189	154	157	143	121	123	127	111	129	126	135	138.9
介護3	88	98	87	106	117	109	127	130	104	103	93	105	105.6
介護4	23	26	24	32	35	31	36	35	24	27	36	43	31
介護5	75	87	86	113	111	103	110	110	93	89	72	77	93.8
計	411	487	423	486	486	451	493	480	409	442	430	469	455.6
支援1	4	5	4	4	3	4	5	4	0	0	0	3	3
支援2	25	29	23	27	23	16	22	21	19	20	20	20	22.1
申請中	9	0	28	10	9	8	9	9	13	0	0	0	7.9
計	38	34	55	41	35	28	36	34	31	20	20	23	32.9
合計	449	521	478	527	521	479	529	514	441	462	450	492	488.6
平均介護度	2.55	2.55	2.65	2.75	2.82	2.82	2.81	2.81	2.81	2.67	2.57	2.58	2.70
稼働率(%)	69.1	77.2	76.5	78.1	77.2	76.6	78.3	79.1	73.5	77.0	75.0	75.7	76.1

参考 2023年度の平均介護度は **2.66**、平均稼働率は **81.5%**

3 研修受講状況 (2024年度)

4月	役付職員研修、入浴介助研修
5月	熱中症・脱水、自衛消防避難訓練
6月	食中毒
7月	高齢者疑似体験
8月	
9月	施設全体消防避難訓練、認知症と接遇 緊急時対応・普通救命
10月	誤嚥性肺炎・口腔ケア、高齢者虐待・権利擁護
11月	
12月	感染症・自然災害 BCP 訓練 コンプライアンス・プライバシー
1月	高齢者虐待・権利擁護
2月	
3月	ハラスメント研修、褥瘡対策とポジショニング

4 行事実施状況 (2024年度)

4月	誕生日、お花見ドライブ
5月	誕生日
6月	誕生日
7月	誕生日、夏祭り
8月	誕生日、かき氷
9月	誕生日、敬老会
10月	誕生日
11月	誕生日
12月	誕生日、忘年会(お鍋) 皆勤賞 ゆず風呂
1月	誕生日、バスクリン風呂
2月	誕生日、節分レク
3月	誕生日、おやつレク

➤ ヘルパーステーション きよみず苑

2024年度はご利用者の体調不良や認知症の進行で介護度も重度化し、朝昼夕の定時排泄介助の訪問が前年度より約1000件増加。月当たりの平均訪問件数が約870件と前年度より90件ほど訪問件数が増加した。ご利用者の体調が日によって不安定な時もあり、介護保険外の自費サービスでの配膳下膳が特に増加した。併設デイサービスや担当ケアマネジャーと常に連携、情報共有し、在宅生活が少しでも長く継続できるように援助を行なった。

1 利用の状況（月別・利用件数）（2024年度） (件)

	総合事業			要介護				総合計
	生活型	介護型	合計	身体介護	生活介護	身体生活	合計	
4月	0	8	8	594	123	2	719	727
5月	2	8	10	663	145	5	813	823
6月	4	9	13	658	137	3	798	811
7月	5	9	14	711	140	6	857	871
8月	4	8	12	769	140	6	915	927
9月	4	9	13	765	138	8	911	924
10月	5	9	14	787	147	6	940	954
11月	4	8	12	772	141	6	919	931
12月	3	8	11	788	133	7	928	939
1月	4	8	12	732	127	7	866	878
2月	4	8	12	632	130	6	768	780
3月	3	9	12	726	141	7	874	886
合計	42	101	143	8597	1642	69	10308	10451

参考 2023年度 身体介護は7520件、総合計数は9351件

2 介護度別の実利用者数（2024年度） (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	1	7	10	5	1	5	29
5月	1	1	7	10	5	1	5	30
6月	1	1	5	11	5	0	6	29
7月	0	2	5	10	4	0	7	28
8月	0	2	6	10	4	0	7	29
9月	0	2	7	9	5	0	7	30
10月	0	2	7	9	5	0	7	30
11月	0	2	7	7	5	1	7	29
12月	0	2	7	7	4	2	6	28
1月	0	2	7	7	4	2	6	28
2月	0	2	8	7	4	3	4	28
3月	0	2	8	8	4	3	4	29
合計	2	21	81	105	54	13	71	347

参考 2023年度の合計（延べ実利用者数）は353名

3 介護保険外の利用者数 (2024 年度)

(人)

	服薬管理	ラウンジ送迎	配膳下膳	通院	洗濯	自費(家事)	自費(身体)	合計
4月	15	4	17	0	5	3	3	47
5月	14	4	15	0	6	3	3	45
6月	15	4	18	0	6	3	3	49
7月	15	4	19	0	5	3	3	49
8月	14	4	15	0	6	3	3	45
9月	15	4	18	0	4	2	2	45
10月	17	4	20	0	5	4	2	52
11月	16	4	20	0	5	3	2	50
12月	16	3	19	0	5	4	4	51
1月	16	3	19	1	5	4	5	53
2月	14	3	19	0	5	3	4	48
3月	16	3	20	0	5	3	4	51
合計	183	44	219	1	62	38	38	585

参考 2023 年度の合計 (延べ利用者数) は 556 名

4 研修受講状況 (2024 年度)

4月	役付職員研修(2024年度 事業計画と人材育成)
5月	熱中症・脱水
6月	食中毒
7月	尿路感染・陰部洗浄
8月	
9月	口腔ケア・誤嚥性肺炎
10月	権利擁護・高齢者虐待
11月	ノロウイルス、認知症と接遇
12月	法令遵守・プライバシー保護、感染症 BCP 訓練
1月	
2月	
3月	ハラスメント、褥瘡とポジショニング

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2024年度も内部・外部共に認知症の進行や身体機能の著しい低下により、在宅生活が困難な利用者が多数見られ施設入所や入院されるケースが増加した。

目標達成に向けた取り組みとして、居宅内での情報共有や関係機関との連携を密にすることで支援の質を高め、目標達成に向けて取り組んだ結果、年間を通じて、給付管理数がほぼ120%以上と、大きく目標を上回ることができた。

また、主任介護支援専門員更新研修を受講し知識や実践に関する理解を深める機会となった。今後も認知症高齢者や身体状況の重度化に対応できるよう、引き続き指導や助言を行い、自己研鑽や多職種連携を強化し、より柔軟かつ迅速な対応ができるよう努める。

1 介護度別の給付管理数 (2024 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	26	24	27	30	31	31	31	30	32	32	33	32	359
介護2	32	32	32	31	30	31	30	29	30	28	28	32	365
介護3	14	14	16	15	15	14	15	15	13	15	15	14	175
介護4	8	6	6	4	4	3	3	3	5	6	7	6	61
介護5	5	5	5	7	7	7	7	7	6	6	4	4	70
計	85	81	86	87	87	86	86	84	86	87	87	88	1030
平均介護度	2.22	2.20	2.18	2.16	2.14	2.11	2.12	2.14	2.10	2.14	2.09	2.06	2.14

2024年度の給付管理数合計のうち、サ高住件数は**346**件

参考 2023年度の給付管理数合計**1009**件（うちサ高住数**369**件） 平均介護度**2.17**

2 介護予防受託数 (2024 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36

参考 2023年の受託件数合計**58**件

3 認定調査件数 (2024 度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	1	5	3	2	0	5	2	6	4	2	1	4	35

参考 2023年の認定調査件数合計**40**件

4 研修受講状況 (2024 年度)

4月	役付職員研修(法人内)
9月	緊急時対応・心肺蘇生(法人内)、認知症と接遇(法人内)、
10月	権利擁護と高齢者虐待防止(法人内)、主任介護支援専門員更新研修
11月	ノロウイルスについて(法人内)
12月	主任介護支援専門員更新研修、法令遵守とプライバシー保護(法人内) BCP感染・災害時訓練
1月	主任介護支援専門員更新研修
2月	主任介護支援専門員更新研修
3月	ハラスメント研修(法人内)

➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2024年度上半期は入退居が続き目標室数維持に努めた。下半期は入居室数としては安定しているが、入居者の高齢化やADLの低下が顕著。また、近隣に24時間看護師や介護士が常駐し、医療依存度の高い方をターゲットとした施設が開設。家族の介護負担が大きい方はそちらを希望され転居する方が数名、年度末に出始めた。目標室数としては38.5室を維持できたが次年度も入退居は続くと思われる。また2月には開設10周年記念無料特別喫茶を実施。「スイーツ三品盛り合わせ」を提供し好評を得た。

1 入居の状況（月末の契約数）（2024年度）

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	38	1	2	17	27	44
5月	38	0	0	17	27	44
6月	37	2	3	16	27	43
7月	38	1	0	16	28	44
8月	39	2	1	16	29	45
9月	39	1	1	16	29	45
10月	39	0	0	16	29	45
11月	39	0	0	16	29	45
12月	39	0	0	16	29	45
1月	39	0	0	15	29	44
2月	38	0	1	14	29	43
3月	37	0	1	14	28	42

2024年度 平均入居室数 **38**室、平均入居者数 **44.0**名、新規入居室数 **7**、退居室数 **9**
 参考 2023年度 平均入居室数 **38**室、平均入居者数 **44.5**名、新規入居室数 **10**、退居室数 **9**

2 入院の状況（2024年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(人)	5	3	2	1	1	0	2	3	2	4	2	1	26
延日(人日)	76	49	44	31	9	0	23	32	36	55	30	4	389

参考 2023年度 入院者数延べ**38**人、延べ日数は**513**人日

3 入居者の年齢構成（2024年度末現在）

年齢	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	1	2	11	10	14	4	0	42
割合(%)	0	0	2.4	4.8	26.2	23.8	33.3	9.5	0	100

2024年度末の平均年齢は、**87.7**歳
 参考 2023年度末の平均年齢は、**88.6**歳

4 入居者の介護度（平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
自立	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38	7.2
要支援1	2	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	39	7.4
要支援2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45	8.5
要介護1	9	8	8	8	9	10	10	11	11	11	11	11	117	22.1
要介護2	15	15	13	13	13	12	12	11	11	11	10	10	146	27.6
要介護3	5	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	51	9.6
要介護4	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	4	3	28	5.3
要介護5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	65	12.3
合計	44	44	43	44	45	45	45	45	45	44	43	42	529	100
平均介護度	2.16	2.21	2.21	2.17	2.14	2.12	2.12	2.18	2.18	2.11	2.09	2.04	2.14	

参考：2023年度の平均介護度は、**2.13**

5 行事・レクリエーション 実施状況 (2024年度)

4月	橘体操 (0名)、映画鑑賞「お嫁においで」 (4名) 特別喫茶「フルーツロールケーキ」 (27名)
5月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「こんにちは、母さん」 (5名) 特別喫茶「抹茶のパウンドケーキ」 (25名)、お花見弁当 (22名)
6月	橘体操 (1名)、映画鑑賞「佐賀のがばいばあちゃん」 (3名) 特別喫茶「レモンケーキ ウイークエンドシトロン」 (22名)
7月	橘体操 (5名)、映画鑑賞「少年H」 (3名) 特別喫茶「チョコバナナパフェ」 (19名)
8月	橘体操 (6名)、映画鑑賞「この世界の片隅に」 (3名) 特別喫茶「ジェラート」 (19名)
9月	橘体操 (2名)、映画鑑賞「座頭市」 (6名) 特別喫茶「プリンアラモード」 (24名)
10月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「火垂るの墓」 (7名) 特別喫茶「焼き芋の食べくらべ」 (25名)
11月	橘体操 (2名)、映画鑑賞「学校Ⅱ」 (7名) 特別喫茶「あんまん&肉まん」 (23名)、行楽弁当 (20名)
12月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「命の停車場」 (5名) 特別喫茶「苺のレアチーズケーキ」 (20名)
1月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「湯道」 (3名) 特別喫茶「回転焼き」 (23名)
2月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「おとうと」 (6名) 特別喫茶「きよみず苑開設 10周年記念無料特別喫茶」 (25名)
3月	橘体操 (3名)、映画鑑賞「老後の資金がありません」 (6名) 特別喫茶「長命寺桜餅」 (18名)

*毎週月曜日 イオン移動販売車での「きよみず苑訪問販売」

3. 本部管理部

2024年度は、支出の値上げの年度だった。前年度5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に変更となり、2024年8月には第11波が訪れたが、国は経済中心に方向転換していたため、インバウンド需要の増加に伴い、京都に多くの外国人が訪れ、また、自粛していた日本人も観光地である京都に多く訪れたため町中に外国人と観光客で一杯になっていた。今まで新型コロナウイルス感染症で需要が少なかったサービス業(飲食業、旅館・ホテル業)や経済活動の回復により人手不足になることで介護職員の求人がハローワーク等の公共の求人紹介からはなかなか応募がなく、人材紹介業者経由での採用が増加して多額の紹介手数料を支払う状況となった。

また、人手不足による人件費の高騰、不安定な世界情勢による原油や資材の値上がり、円安による輸入品価格の高騰と、2022年より消費者物価が毎年上昇し事業運営が難しくなっている。

➤ 施設管理課

2024年度も、人事・経理・財務・保安・保守・営繕において、栄光会のあらゆる部署に関わる担当課として、施設のハード面から人材確保・福利厚生などのソフト面に至るまで、各部門の運営が円滑に進むよう種々の取り組みを行った。

○施設維持管理、保安・保守

1 設備等の維持管理業務について

(1) 東旺苑は、建築後37年が経過した建物及び設備において老朽化が激しく、これまで中期計画で検討・実施した「2020年度 特殊浴槽の入替え」、「2021年度 ガス給湯器の入替え」、「2022年度 照明機器のLED化工事」、「2023年度 電話設備及びナースコールのハンディナース(PHS)の入替え及びリフト浴設備の入替え」等、取得後10年以上のサイクルで入替えを行う設備関係を4年続けて行ってきたが、今年度については、事業計画に掲げていた12月にリース契約期間が終了する車椅子対応の軽自動車1台の入替え(リースから新車購入)を納入業者の都合によって2月に行った。その他エアコンの入替え工事については、壊れた物から順次行うこととし本年度は医務室のエアコンの入替えを行った。キュービクルの入替え工事については、高額なため資金に余裕が出来た段階で入替を行う。入居者用のベッドも半数以上が旧型の手動式ギャッジベッドであるため、計画的に電動ベッドへ入替える予定であったが資金の都合上優先順位の高いものから入れ替を行った結果、今年度の実施は叶わなかった。また長期修繕計画では、建物外壁の塗り替えや施設自体の改修又は建て直し等の検討を行なう必要がある。

(2) きよみず苑は、2025年の2月に開設10周年に至った。この節目を迎え、老朽化した設備などに不具合が相次いでいるが、幸い今年度の大きな修繕は地下水漏れ対策工事程度であった。しかし、居室のエアコン故障や洗面所の水漏れ、その他の経年劣化による修繕などは絶えることなく発生しており、職員で対応が困難なものは業者に修繕を依頼している。また設備の維持管理の他に、日常の建物内メンテナンス(床・階段などの清掃など)の強化や職員による建物清掃(高圧洗浄機による洗浄など)などを行い、汚れや痛みの手入れを実施した。

* 空調機フィルター清掃 → 年2回業者が実施

* 建物外整備(屋上・外周)など → 年2回程度、職員合同で実施のほか、本部管理部で適宜対応

* デイサービス以外の車両管理(洗車・各種整備・タイヤ交換) → 本部管理部で適宜対応

2 防災対策及び入居者等の生活の安全維持については、東旺苑ときよみず苑の両施設の防火管理者が起案する訓練や研修(きよみず苑の防災教育は各地区の防火担当責任者が担当)を実施した結果、部署単位で組織的に意識改革が進み、職員の対応力も高いレベルで定着。災害が生じても初期対応ができる体制は整備できた。また「介護事業者の業務継続計画(BCP)」についても、内容に基づいて防災訓練を定期的実施。より具体的かつ実践的な内容に都度見直しを行い災害に備えている。

* 自主防災訓練の実施状況 (2024 年度)

実施月	訓練内容	実施施設
5 月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東(デイ)
9 月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東(全部署)
	自衛消防訓練(夜間想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
12 月	防災訓練(BCP に基づき土砂災害・風水害対策)	きよみず苑・京都東
3 月	自衛消防訓練(日中想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
	土砂災害に係る避難訓練(図上訓練)	特別養護老人ホーム東旺苑
	自衛消防訓練(夜間想定) * 夜勤職員特化で実施	きよみず苑・京都東
	自衛消防訓練(夜間想定) * 宿直職員特化で実施	きよみず苑・京都東
	京都市シェイクアウト訓練	全施設
	防災訓練(BCP に基づき土砂災害・風水害対策)	きよみず苑・京都東

○ 衛生管理関係

労働安全衛生法に基づき職員の「ストレスチェック」を毎年実施しているが、今年度の高ストレス者は全国平均より 7 割多い結果で過去最多。前年度分は、新しく更新されたデータで見直すと全国平均の 2 倍の結果となった。よって具体的な改善を図る必要があるが、本人から面接指導の希望はなく、過去のデータを項目別・集団別で対比を行い、法人幹部で共有するのみの状況である。

しかし、今年度は労働基準監督署の指導に基づき“衛生委員会”をきよみず苑に立ち上げ、9 月より毎月開催出来ている。この活動により、法人の基本方針に沿った働きやすい職場作りと労働環境の整備が着実に進んでいる。また職員の健康維持や労働災害の予防対策等も推進しており、定期健康診断や腰痛健診などを確実に実施しているうえ、結果に基づく対応も強化し二次健康診断を対象者に促すなどを実施、より実践的な取り組みを行っている。衛生委員会がこのまま改善を進め、更に本格的な活動ができるようになれば、高ストレス者の減少にもつながると期待できる。

なお、産業医については本年度は未選任だったが本年 2 月に施設医が産業医の研修を修了したため、次年度の早期に選任予定となっている。

労働災害は、介護職員の業務災害が 2 件発生。内容は、誤った方法によるベッド移乗介助に起因する負傷と、転倒しかけた入居者を支えて負傷となっている。既に衛生委員会などで内容を審議し、予防対策などの徹底を実施済みである。

○ 人材確保

- 前年度に引き続き、介護業界全体として人材不足が益々顕著となってきている中、当法人においても、中途採用者、新卒者とも、人材不足により必要人数の補充が未達成の一年であった。年度内の人員推移について、①入職者 10 名／介護職 9 名（うち正規職員 3 名）、宿直職員 1 名 ②退職者 17 名／介護職員 14 名（うち正規職員 4 名）ケアマネジャー（正規職員）1 名、准看護師 1 名、宿直職員 1 名 と退職者が超過する推移であった。募集内容においては、HP、ハローワーク、ネットサイトと過去同様に幅広く募集、ハローワーク経由 4 名、紹介業者経由 2 名、HP 1 名、ネットサイト 2 名の結果であり、頻りに募集掲載の告知内容を変更し目を引くべく努めたが必要人数には満たなかった。不足人員の補填については一旦 0 名で推移していた派遣を投入／延べ 20 名、期末時点で 6 名の就労と、必要日時のスポット採用の Ucare において、きよみず苑／延べ 47 名・174 回（1 回平均 3.5 時間）就労、東旺苑／延べ 34 名・99 回（1 回平均 3 時間）就労と、不足する時間帯の穴埋めおよび介護職員の時間外勤務の軽減を行った。枯渇する介護人材の状況を受け、すでに国策として動いている外国人介護人材の登用について、2025 年度から当法人においても運用開始を念頭に、0 から育成という時間及び労力がかかる採用は行わず、国内で 3 年間の技能実習を終了し、特定技能生として転職する即戦力の好人材を雇用するため、数社を調査し、次年度 5 月以降に順次入職者 2 名の採用を決定した。また、これに先行し、実務者研修修了済の定住者資格の外国人を紹介業者経由で本年度 2 月に 1 名採用。外国人雇用の足掛かりとした。
- 厚生労働省の「キャリアアップ助成制度」について、前年度は派遣からの直接雇用への転換、非正規職員から正規職員への転換が無く受給はなかったが、本年度 4 月採用の非正規職員を年度内 2 月に正規職員に転換、次年度に受給の見込みである。また、中高年者の採用でハローワーク主催の面接会で採用した正規職員が「特定求職者雇用開発助成金」を受給の予定であったが、残念ながら早期に退職したため受給とはならなかった。

- 3 新卒採用について、ここ数年間、大学、専門学校、高校生とも採用活動を展開するも特に本年度は反応が無く見学者すら応募がない厳しい結果であった。当法人に入職したいと思える職場環境作りによる転職者の確保も重要であり、非正規職員の就業規則の細かな部分の再改定を行うなど環境整備に努めてきた。
- 4 同一賃金・同一労働法などに基づき、就業規則及び非正規職員就業規則の変更を行った。
- 5 衛生委員会より、協会けんぽの「京(きょう)から取り組む健康事業所宣言」を行うことを提案、本年度末に申し込みを行った。これは法人が健康経営に取り組むことを宣言するものであり内外に宣言をアピールして人材確保に繋げ、更には労働環境の向上にも繋げて優秀な人材を確保するよう進めている。また、衛生委員会では今後日本が人材不足に陥る状況を踏まえ、シニア世代の職員数増加に備えた労働環境づくりなどを推進し、優秀な人材が一人でも多く健康で長く働ける職場作りに取り組んでいる。

6 法人・役付職員研修会の開催状況 (2024 年度)

開催月	研修内容	講師	参加人数
4 月	2024 年度事業計画、人事考課と人材育成	統括施設長、各部部長 他	22 名

○助成金活用事業

公益財団法人 JKA 様の「競輪とオートレースの補助事業」による福祉車両導入を受け、東旺苑の車椅子対応の軽自動車を 1 台入れ替えた。補助金 130 万円は、次年度 4 月の受給となる。

○地域貢献

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 5 類に移行した昨年度は、地域自治体が実施する各種催しなどもコロナ禍前の規模には至らなかったが、本年度は開催時期の感染状況を確認しながら自治会や自治会主催の定期的な催しにも積極的に参加した。

また、引き続き市老協の地域貢献事業、京都市の配食サービス委託事業、百々小学校区かぎ預かり事業、まち美化活動、消防訓練などにも取り組むほか、イオンフードスタイルの移動販売車による訪問販売などと協力し、地域との関係性をより深めて行けるように取り組んだ。

○経費の増減

- 1 本年度は、長く続いた新型コロナウイルスが 2023 年 5 月に感染症法上 2 類から 5 類に変わったことにより、政府が経済中心に方向転換したことで、あらゆる業種で人手不足になっている。介護業界は元々慢性的な人手不足のため離職者が出ると補充が難しく、特に本年度は求人を出しても応募がない状況であった。当法人も離職者の補充に派遣職員の導入を強いられ 2023 年度に比べて約 1,200 万円派遣職員費が増加した。
また、京都府の最低賃金が 4 年続けて時間単価が上がり 2024 年は前年に比べ 50 円も上昇し人件費の内・派遣職員費以外でも約 400 万円増加した。世界情勢の不安定による原油高が原因でエネルギー関係(電気料金、ガス料金)が値上がりし、石油を原材料とするビニールやプラスチックでできている介護用品(オムツ、パッド)及び衛生材料(アルコール消毒、手袋)も値上がりが続いている。取引先の値上げ理由も、材料自体の高騰と人件費の高騰で一年間に何度も値上げをしている状況である。公共料金の内、2023 年度に比べて電気料金が約 400 万円、ガス料金が約 26 万円増加している。物価高騰に対して 2024 年度は、行政からの物価高騰対策支援金・約 260 万円を受給した。
- 2 支払手数料に関しては、人材紹介業者に対して約 210 万円(前年度約 20 万円)、サ高住紹介手数料が約 120 万円(前年度約 80 万円)、それぞれ前年度に比べて大幅に増加した。
- 3 業務委託費に関しては、給食委託会社の委託費が 7 月分より月額約 30 万円増加。
- 4 保守料に関しては、今年度に両施設のエレベーター保守料の見直しを行った。
 - ・東旺苑は、製造メーカーとの保守料金の見直しで、12 月分より月額約 2 万円減少した。
 - ・きよみず苑は、製造メーカーと保守専門会社との相見積りにより保守専門会社に変更し、1 月分より月額約 5 万円減少した。

➤ 栄養管理課

2024年度も、東旺苑ときよみず苑の両施設ともに、各部と連携し計画・実行するものについては、検証を行い、現在のサービスを精査しながら、より良い「食・栄養」の提供をご利用者の「楽しみ」へ発展させるよう努めた。

○栄養管理課全般

- 1 毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、また改善点や食事提供方法などについて検討・情報共有を行い、より質の高い食事の提供を実施することができた。
- 2 月に1回のサ高住特別喫茶の企画では、管理栄養士とヘルパーステーションの職員が協力して行い、季節に応じた特別メニューを手作りで提供し入居者様の楽しみやコミュニケーションの増進に繋がった。サ高住で月一回の特別喫茶の継続を目標にし、入居者様のADLの低下に伴い参加人数は少しずつ減ってはいるが毎月25名弱の参加者があり定着している。
- 3 嗜好調査や情報発信など
両施設のインスタグラムへの投稿、きよみず苑運営推進会議への資料提供、家族や外部への情報発信を可能な限り行った。家族を交えた大きなイベントの再開を目標としていたが、ご利用者様の食事形態の低下が進み、家族様と同じテーブルで同じ食事をするという事が難しかった為、実現には至らなかった。

○東旺苑・配食サービス事業

法人の地域貢献事業の一つで、京都市の委託を受け東旺苑が実施する地域の要介護独居高齢者等への配食サービスに関しては、新規利用者の受入に努め問い合わせが止まらず登録人数は過去最高の35名となった月もあった。配達職員を増やして一日最高20件程度とし、一年を通して前年度より一日平均3.9食の増加となった。

次年度も一日最高20件程度とし、受け入れを調整しながら地域の独居高齢者等の生活支援や安否確認など地域貢献に積極的に取り組んでいく。

*配食サービスの実施状況 (2024年度)

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	422食	0	0	422食
5月	409食	0	0	409食
6月	400食	0	0	400食
7月	427食	0	0	427食
8月	461食	0	0	461食
9月	485食	0	0	485食
10月	550食	0	0	550食
11月	569食	0	0	569食
12月	600食	0	0	600食
1月	555食	0	0	555食
2月	509食	0	0	509食
3月	561食	0	0	561食
合計	5,948食	0	0	5,948食
1日平均	16.3食	0	0	16.3食

参考 2023年度は、合計4,544食、1日平均12.4食

4. 法人事務局

法人事務局として、理事会・評議員会について通常開催に加え、評議員選任・解任委員の改選の年度であったが、各運営について滞りなく執り行えた。また、年度途中の理事1名の予期せぬ交代(逝去)について、支障なく改選を執り行った。

栄光会の運営において、主に人事採用面に重きをおき、特に不足する人材の確保に関して、外国人人材(特定技能実習生)の登用の画策、人材不足日時のスポット勤務の雇用など、新たな取り組みを開始した。

また、夏期冬期の賞与、年4回の介護職員処遇改善加算の定期的な成果報酬による職員への支給計算業務、人事関連の辞令発令業務及び法人内への告知業務など、統括施設長のもと本部管理部と連動し行った。他に、設備営繕業務や契約書保管など、本部管理部を補佐して行える業務を幅広く執り行った。

○法人事務

毎年更新の自動車任意保険をはじめとし、様々な契約の更新、新規締結の契約書の保管管理を本部管理部と連動して執り行ってきた。また、本年は就業規則、その他法改正による各種規定の大きな改定は発生しなかったが、非正規職員の就業規則において、現状に即した微細な改定を実施した。

○法人事業広報活動

主に人材採用に関して重きを置き活動。介護人材の全国的に不足している現状において、国が進める外国人人材活用の施策による人材不足の補填を見据え、特定技能実習生を取扱う複数社をサーチ。当法人においては、外国人を現地から招へいし0から育成する困難な手法はとらず、技能実習生として3年を就労し、特定技能実習生として引き続き5年間日本で就労を続け、介護福祉士資格を取得し日本での定住を望む転職希望者の中から、言語・技能とも習熟した優秀な人材を採用する、極めて現実的な手法での採用を進め、次年度に時期をずらし順次入職の予定で2名の外国人の採用を決定した。

また、退職者の補充において、人材不足で即採用が不確定な現状において、人材不足となる曜日時間をネットサイトで募集し、適宜スポット的に短時間就労してもらう新たな人材補填方式のUcareと契約、職員の時間外勤務の軽減につなげた。

○理事会、評議員会等の運営事務

本年は、通常の理事会、評議員会の審議内容に加え、評議員選任・解任委員の改選を支障なく執り行った。

*理事会・評議員会等の開催状況(2024年度)

5月	監事監査	2023年度 会計、業務監査
	理事会	2023年度 決算報告・事業報告、 2024年度 任期満了による評議員選任・解任委員の改選
6月	評議員会	2023年度 決算報告・事業報告 他
12月	理事会	2024年度 上半期収支報告・事業報告 他
3月	理事会	2024年度 補正予算
		2025年度 予算・事業計画 他

○助成金活用事業

厚生労働省の人材採用における助成金において、派遣職員や非正規職員から正規職員に転換で受給のキャリアアップ助成金については、年度内に受給できる対象者が不在であった。

その他、特定求職者助成金を受給できる年齢の人材を採用するも、早期に退職し受給とならなかった。